

# 一 般 質 問

令和2年9月9日（水）

13番 金谷 聡 議員

## 1. コロナ対策について

- ①洪水・地震等の災害や今後懸念される新型コロナウイルス感染症の拡大に備えて、マスク、手指消毒液、使い捨て手袋、ハンドソープ、ペーパータオル等消耗品の市の備蓄状況について伺います。
- ②通学時の感染予防の為、スクールバスの増便が来年3月末までの期間限定措置として実施されています。しかし新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中、長期的視野に立ち対策を施していく必要があると考えます。来年4月以降もスクールバス増便を継続することに対する市の考えを伺います。
- ③新型コロナウイルス感染症対策の一環として厚生労働省が推奨する「COCOA」のダウンロード数が8月26日時点で約1,500万件と少々伸び悩んでおり、十分に有効利用されているとは言えない状況です。石狩市を含む北海道では新規感染者数の伸びは多少落ち着いてきているように見受けられますが、このサービスは石狩市にとっても有効な感染拡大を阻止する対策の一つとなりうると考えます。このことに対する市の考えを伺います。

## 2. 石狩市内のゴミの課題について

- ①国から「プラごみ一括回収」事業が提唱されておりますが、環境汚染を防ぐ観点からもプラスチックゴミを資源として再利用する比率を高めていく必要があると考えます。このことに対する市の考えを伺います。
- ②ゴミ分別に対し分別表の作成・配布やホームページへの掲載など、市民への周知が図られておりますが、さらにもう一步踏み込んでIT機器を有効活用しアプリを用いたゴミ分別自動返答サービスを導入することにより市民の利便性がより高まると期待されますが、市の考えについて伺います。
- ③石狩市指定ゴミ袋の現状と課題について伺います。
- ④これまでも市はゴミ不法投棄に対し対策に取り組んでおりますが、防風林や石狩湾新港地域等、市内においてゴミ不法投棄が依然見受けられます。これまでの取り組みについての市の評価を伺います。

## 3. 公契約条例の制定に関する考えについて

平成22年6月に開催された本市第2回市議会定例会において「公契約に関する基本法の制定を求める意見書」が全会一致で採択されてからすでに10年が経過しています。建設現場で働いている労働者の生活を守り、公共事業の質を維持してだけでなく、事業主にとっても適正価格での落札に繋がる公契約条例の制定に関する市の考えを伺います。

## 4. コロナ禍における福祉事業への対応について

- ①介護報酬特例算定措置について

今般のコロナ禍において、通所系サービス事業所（短期入所を含む）に限り介護報酬の特例算定が認められることとなり既に実施されておりますが、利用者への更なる負担増も発生します。市内各事業所の実施動向の把握状況と市としてこのことへの対応と今後について市の考えを伺います。

②障がい者施設への簡易陰圧装置、換気設備費用の助成について

福祉施設における集団感染リスクの低減を図る簡易陰圧室や陰圧装置、換気設備の導入・設置については、医療施設・高齢者介護施設への助成が進む状況となっているが、同様に集団感染リスクの高い入所系障がい者施設などにも適用の状況を伺います。

---

4番 三崎 伸子 議員

1. 学校給食費無償化について

- ①コロナ禍における学校給食での食育の大切さについて
- ②憲法26条2項にある義務教育は無償と子どもの発達保障の観点で考えられないか
- ③学校給食の担う役割について子育て支援に力を入れている市長の考えを伺う

2. 核兵器禁止条約と平和教育の大切さについて

- ①核兵器禁止条約に向けての市長の考えを伺う  
非核都市宣言について
- ②石狩空襲をどのように語り継いでいるか

3. 石狩市の新型コロナウイルス感染症の今後に備えての医療体制について

- ①全国的に受診抑制のため病院の経営状態は赤字と予想されますが石狩市の経営実態の把握はしているか
- ②第3波が来た時、受け入れ先の病院とベッド数の把握はしているか  
イ. 市内に収容先となる病院とベッドは用意されているか  
ロ. 2次医療圏への受け入れの計画はされているか

---

3番 遠藤 典子 議員

1. 特別定額給付金支給基準日以降の新生児の対応について

4月28日以降に生まれた新生児に対する支給について

2. 成人検診の受診率向上について

- ①乳がん検診受診率向上に向けて、セルフチェック用「自己検診グローブ」の周知と配布について
- ②生涯の健康管理のため、「検診手帳」作成と活用について

### 3. 市民サービスの向上について

スマホを活用した道路、公園など、不具合箇所の通報について

---

20番 日下部 勝義 議員

#### 1. 石狩市鳥獣防止計画について

農作物被害は減少しているものの依然として高い水準にあり、猟友会員の高齢化による担い手不足や罠の設置に関しての課題もあります。今後の課題解決に向けた考え方について。

#### 2. 北海道ベースボールリーグを通じた本市のスポーツ振興に関して

野球独立リーグ「北海道ベースボールリーグ」が発足し、本市においても「石狩レッドフェニックス」が始動しました。スポーツ振興という視点に立った北海道ベースボールリーグの活用についての考え方は。

#### 3. 行政のデジタル化について

新型コロナウイルス感染症対策として、リモートワークやオンライン申請など新しい生活様式が推奨されてきました。自治体においても様々な情報システムが活用されておりますが、初日に可決された「行政事務デジタル化・オンライン化事業」によって具体的にどう変わるのか。

#### 4. 石狩湾新港地域の新たな取り組みについて

これまで様々な企業が進出し操業を開始しているが、京セラコミュニケーションシステム(株)が「自動走行ロボットを活用した新たな配送サービス」の内容について。また、「ゼロエミッション・データセンター」との関係性は。

#### 5. 生振3線から国道337号までの区間の道路について

昨年11月の第4回定例会において質問させていただいた通行止めについて、現在の状況は。

#### 6. 新型コロナウイルスに関して特措法の認識

パンデミックは世界規模で社会の在り方を変えました。今回の特措法は様々な問題点が明らかになりました。市長が新型コロナウイルス感染症対策本部長として、また、危機管理全般での首長としての考えは。

#### 7. 公共施設（社会体育施設）における冬期間の対策について

政府のコロナ対策本部において5月に基本的対処方針が示されました。社会体育施設やトレーニングルーム・健康増進室などの冬期間の取り組みは。

## 8. 新型コロナウイルス時代の教育の課題と展望

今回のコロナ禍は学校が抱える問題を浮き彫りにしたと言えます。GIGAスクール構想といったICT教育の問題。スポーツ大会や行事の中止など、現場の苦悩は計り知れないと思います。公教育が抱える課題と現状認識、将来の期待は。

## 9. 持続可能な公共交通について

人口減少や高齢化により、公共交通の利用者は減少傾向にあります。公共交通の維持は石狩市の喫緊の課題と捉えております。市としての考えは。

## 10. 石狩小学校の利活用について

今年の4月に閉校した後の校舎利活用については「石狩小学校校舎利活用検討委員会」より意見書が提出されたと承知しております。現在の進捗状況、方向性について。

---

# 7番 神代 知花子 議員

## 1. 石狩市の森林整備とエネルギー事業について

日本の森林資源、特に戦後造成された人工林が利用期を迎えます。石狩市の民有林においても、森林整備計画で、それぞれの森林に期待される機能に応じて、公益的機能の維持増進を図るべき「公益的機能別施業森林」と、「効率的な木材生産が期待出来る木材等生産機能の維持増進を図る森林」に区域を設定しています。平成23年度に措置された森林経営計画制度は、森林法の目的である森林の保続培養と育成に取り組みながら、面的まとまりのある森林を効率的かつ持続的に整備し、安定的な林業経営を目指しています。しかし、今、地域の民有林では、Fit制度で高額の売電が確約された、風力発電の実施計画や、地域森林からの材の持ち出しをあてにしたバイオマス発電が計画されています。

- ①石狩市森林整備計画への石狩市森林管理推進協議会の関わりと、石狩市の森林経営計画の認定状況を伺います。また石狩市森林整備計画の考え方は、森林経営計画にどのように反映されているのか。(民有林の地権者に対し、どのような強制力があるか)現在の民有林の森林施業の課題は何か伺います。
- ②八の沢風力発電計画について。計画事業者は環境アセスの準備書段階まで進めて以来3年間、全く音沙汰がなかったが、先月新たな事業者が引き継ぐ方向で、現地ボーリング調査が終了している。この付近には、静かな何もない環境をアピールポイントとした古民家を利用した宿がオープンしたばかりで、建設予定地は、森林整備計画では水源涵養林として重要な森林とされている。準備書段階では、経産省の環境顧問審査会より大変厳しい意見も出され、市としても審議の過程で、自然環境や事業性の面で危惧を表明してきたが、現在の市の認識としては、この計画についてどのように捉えているのか伺う。森林を開発するには、北海道に林地開発許可申請が出されることとな

るが、その際に北海道からの照会に対して、市の風力発電ゾーニング計画の考え方、森林整備計画のゾーンの考え方も含め、このエリアは環境保全すべきという理由をしっかりと伝えるべきと考えるがいかがか伺う。

- ③京セラコミュニケーションシステム㈱が主体となって実施する再エネ100%データセンターについて。実施の概要とスケジュール、石狩市に立地するにあたり、優遇制度の活用、石狩市の関わりの考え方を伺う。また、ベースロード電源として提携木質バイオマス発電からの電力供給を検討し、道央地区未利用バイオマス協議会にて未利用材を中心に集める計画が進んでいるが、その内容についてと、石狩市森林組合の役割などについて伺う。
- ④小さな単位で集中的に行われた伐採は、森林の劣化や土砂災害を招きかねないと言われます。市町村単位で森林の保続を担保する制度はない中で、このバイオマス発電プラントの需要計画と森林経営計画に基づいた出材料は見合ったものであるか伺う。また20年間の安定供給を見通すための、人工林の維持水準を定めた森林管理の長期ビジョンの策定を検討すべきと考えますがいかがか伺う。
- ⑤一次産業が本来の事業(林業であれば木材のカスケード利用など)で安定経営していくためにも、民有林の森林整備を行う森林組合の経営体制の強化を支援する必要があると考えるが、いかがか伺います。その一環として、森林環境譲与税を、森林経営の専門的知識を有した職員採用に充てるなど、官民連携して、森林整備を行っていく考えについて伺う。
- ⑥バイオマス発電は地域の林地残材だけで賄えきれないことから、海外からの輸入チップやPKS(パーム椰子殻)などを必要とすることで、現地の森林破壊や輸入時のCO2排出の問題など、決して環境負荷が低いとは言えない発電だと考える。バイオマス発電と、騒音・悪臭問題は、つきものであると考えるが、現在石狩市で計画されているバイオマス発電は、環境アセス法の対象となるのか、また市としてどのような環境保全策を検討するか考えを伺う

## 2. 洋上風力発電と市民参加の仕組みについて

- ①環境アセス法と、再エネ海域利用法の運用に関することについて。洋上風力発電の配慮書が次々出される中、石狩市の環境審議会では、配慮書段階の審議は行わず、担当課が知事への意見を作成することとなった。一海域一事業者の入札で事業者が決定するにも関わらず、全部で10ほどの事業者が配慮書を出してくるようだが、結果的に公募が開始された時に、すでに評価を行った計画内容と入札要件が合わない場合、環境アセスをやり直すこととなるのか伺う。また、これまで行っていた環境審議会での配慮書の審議を行わないとすることについて、規則に定められた部会を設定するなど、なんとか工夫して市民が洋上風力の計画について知る機会を担保する考えはないか伺う。
- ②現在、海域の利害関係者として、漁協に対し、事業者が事業実施に関してそれぞれに話をしている状況だと言う。市の考えとして、洋上風力発電の利害関係者は、海を愛好する人や、その近隣に住む住民、石狩湾新港で操業する事業所も入るといふ考えか伺う。促進区域の法定協議会に入る前に、漁業者と市と一般市民が洋上風力に対して対話を持ち、議論するための場を設定するべきと考えるが、いかがか伺います。

### 3. 新型コロナウイルスに関わる市民の経済状況について

- ①社会福祉協議会が実施する新型コロナウイルスに関わる生活福祉金貸付の6月末との申請数比較と、申請者の業態や、業種、持ち家・車所持など、申請者の状況の分析についての考えを伺うとともに、今後の支援の考え方について、また生活保護申請に移行する方に特別な配慮の必要性(持ち家・車所持を維持したまま申請可能か)について伺う
- ②商工会議所などの各部会からは、地域経済状況が分野ごとにどのような状況であると聞きとっているか。特に景気の見通しが立たない業種に対する支援策を伺う

### 4. 寿都町の調査実施判断に対する石狩市のアンケート回答について

北海道新聞が実施した寿都町が原発から出る高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分場選定に向けた文献調査への応募を検討している問題での首長アンケートに対し、石狩市はどのような回答をしたのか。その理由も伺う。